

比奈知ダムに 舞う光の妖精 現れる

水資源機構の比奈知ダム下流親水公園内にある人工的に造った「せせらぎ水路」に生息している、ゲンジボタルが今年も舞い始めました。

このゲンジボタルは、比奈知ダムが環境保全の取り組みの一環として、約10年前より、せせらぎ水路をより自然に近いように整備し、ホタルの餌となるカワニナを移植させたことにより、自然に繁殖し、毎年この時期にホタルが乱舞する様子が見られるようになったものです。

ホタルの乱舞は、2週間程度見られますので、以下の注意事項を守って初夏の夜のひとときをお楽しみ下さい。

【ホタル鑑賞にあたっての注意事項】

- ①ホタルは捕まえたり、持ち帰ったりしないで下さい。
- ②ホタルが見られる期間は、園路内の照明を減灯しますので、足下にはご注意ください。
- ③公園内の照明は、午後10時に消灯しますのでご注意ください。
- ④ゴミ等は必ず持ち帰って下さい。

平成26年6月2日



独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

名張市政記者クラブ

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所
比奈知ダム管理所 所長 後藤 ことう
住所：三重県名張市上比奈知字熊走り1706
電話：0595-68-7111（代表）

【下流親水公園の場所】



ホタルの飛翔の様子（H18年撮影）

